

AMAN

2025年4月2日

アマンは時代を超えた伝統を受け継ぎ

AMAN NAI LERT BANGKOK（アマンナイラートバンコク）を開業いたします

アマン東京、アマン ニューヨークに続く都市型サンクチュアリとして、本日、アマン ナイラートバンコクがその扉を開きます。アマンの平和と静謐の精神をその土地の鼓動と見事に融合させた たな聖域が誕生しました。バンコクの中心地に位置しながらも緑豊かなナイラートパークの静けさに包まれたこの地は、アマンにとって 37 年前にプーケットで開業したアマンの原点「アマンプリ」以来、タイ王国で 2 軒目のプロパティとなります。

バンコク中心部の大天使館が立ち並ぶエリアに佇むナイラートパークは、都心であるにも関わらず静寂の中にあり、光り輝くエメラルドのような緑の宝石です。この地は 1915 年に創設され、現在も名門ナイラート家が所有する歴史ある庭園であり、タイ王国の首都を深く体感できる絶好のロケーションに位置しています。この由緒ある地に建つ「アマンナイラートバンコク」は、地上 36 階建の館内に 52 室のスイート、34 戸のアマンレジデンス、会員制クラブ「アマンクラブ」、総面積 1,500 m² の「アマン・スパ & ウェルネスセンター」、そして複数のダイニングおよびソーシャルのための施設が揃います。

アマン グループ会長 兼 CEO の ヴラッド・ドロニンは、「アマンナイラートバンコクの開業は、世界の象徴的な都市へのアマンのさらなる展開における重要な節目となります。ナイラート家との協働のもと、タイ王国の豊かな文化遺産への敬意を込めて誕生したこの施設は、ホテル、アマン クラブ、アマンレジデンスを通じて、バンコクのラグジュアリー ホスピタリティの たな基準を築き上げます。アマンならではの希少な体験、卓 したロケーション、充実した設備、そして比類のないサービスによって、真にラグジュアリーなライフスタイルをお届けします」と述べています。

AMAN

ホテルのデザインは、この地の文化的背景に深く根ざしており、空間、自然、そして光の要素を取り入れ、時代を超えて価値を持ち続ける洗練された現代的なリトリートとなっています。そして敷地内の「Nai Lert Park Heritage Home（ナイラートパーク ヘリテージ ホーム）」は、近代バンコクの礎を築いた実業家ナイラート氏（プラヤ・バクディノラセート）によって建てられた邸宅であり、その意匠はホテルデザインの細部に息づいています。この場所の豊かな物語性とアマンのDNAである広々とした空間、特別な体験、そしてプライバシーという理念が融合することで、アマン ナイラート バンコクは、バンコクにおけるラグジュアリー ホスピタリティの在り方を進化させ、新時代をもたらします。

館内各所では、タイ王国のアーティストとのコラボレーションによるアート作品が随所に散りばめられています。9階の三層分もの吹き抜けには、樹齢100年を超えるチャムチュリーの木をモチーフにした高さ12メートルの彫刻がそびえ立ち、6,000枚の葉が徐々にその色を金から黒へと変化させる幻想的なインスタレーションとなっています。ロビーには、3,000個の独楽がタイ数字「一」（ローマ数字では1の意）を造形した作品が展示されており、ナイラート家の“偉業のはじまり”を象徴しています。バー「1872」には、チェンマイの職人による木彫りパネルとレザークラウドが施され、タイ王国の伝統的な影絵芝居にインスピレーションを得た空間が広がります。

ホテルの全52室のスイートは、バンコクでも最大級の広さを誇り、サイズは94m²からとなっています。床から天井までの開放感あふれる大きな窓からは、ナイラートパークや市街地の景色を一望することができます。各スイートは、落ち着いた色調の広々としたリビングエリア、ゆとりのある家具配置、そして最先端のテクノロジーを備えており、これらにはすべて、アマンが大切にしてきた控えめで静謐な洗練の美学が反映されています。また、アマンの特徴的な可動式ライトパネルにより、バスルームとベッドルームのレイアウトを数秒でセミオープンに切り替えることが可能です。快適性と柔軟性を兼ね備えた、アマンならではの空間設計が体現されています。

スイートの中でも特筆すべき「テラススイート」(114 m²)は、専用の屋外ラウンジを有し、さらにホテルで最も贅沢な「アマンスイート」は、ワンフロアを丸ごと占める 713 m²の広大な空間に、3ベッドルーム、エンターテインメントルーム、プライベートスパを完備しています。

ダイニング施設も充実しており、9階にはイタリア料理「Arva (アルヴァ)」、ナイラート家の創始者の生誕年にちなんだバー「1872」、緑に囲まれた「The Pool」バーが並びます。

また 19階には、アマンクラブのメンバーや宿泊ゲスト、レジデンスオーナー専用の空間として、たに 2つの日本料理レストラン「Sesui (セスイ)」と「Hiori (ヒオリ)」がオープンしました。セスイでは本格的なおまかせスタイルの鮨、ヒオリでは臨場感あふれる鉄板焼き体験を提供します。屋上テラスを備えスカイラインビューを楽しめるアマンラウンジやシガーバーも併設され、洗練されたひとときを演出いたします。

3フロアにわたり 1,500 m²の広さを誇る「アマン・スパ&ウェルネスセンター」では、極めて洗練されたアマンのホリスティックなウェルネス哲学に基づき、都会にいながら深い癒しと再生を叶える体験をご提供いたします。著名な「Hertitude Clinic」によるメディカルウェルネスでは、パーソナライズされたウェルネスプログラム、クライオセラピーや IV セラピーなど最新のトリートメントを提供いたします。

さらにアマン・スパでは、タイ伝統の癒しをテーマに 8室のトリートメントルームと、バンコク初となるプライベート「バニヤスパハウス」をご用意。バニヤスパハウスには、専用のスチームルーム、ジャグジー、ラウンジを備えた完全プライベートな空間が広がり、大切なご家族やご友人とゆったりと過ごす、半日から 1日かけてのウェルネス・ジャーニーに理想的な環境が整いました。また、ホテルのインフィニティプールは、樹齢 100 年を超えるバンコクで 3番目に高いソンポンの木を囲む楕円形の中庭に面しており、やわらかな木漏れ日の下で、午後のひとときをゆっくりとお過ごしいただけます。さらにスチームルーム、サウナ、冷水浴、ハイドロセラピー設備も完備。最先端のフィットネスセンターとヨガ、ピラティス、パーソナルトレーニングに対応したフィットネススタジオも備わっています。

AMAN

アマン ナイラート バンコクでは、この土地の歴史的遺産を称え、その文化に浸れるエクスクルーシブな特別プログラムをご提供しています。たとえば、ナイラートパーク内のヘリテージホームにて楽しむ本格的なタイ料理のプライベートダイニングや、専用のトゥクトゥクで巡る夕暮れ時のバンコクの寺院探訪など、ゲスト一人ひとりのために丁寧に設えた体験を通じて、この街の魅力を余すところなくご堪能いただけます。

アマン ナイラート バンコクの開業は、アマンのグローバルな軌跡において たな節目を刻むものです。本プロパティは、今後各地で開業を予定している都市型およびリゾート型施設の先駆けとして、ブランドの進化を体現する存在となります。また、アジアに広がる 24 軒のアマンへの旅の出発点として、あるいはその締めくくりとして、ゲスト一人ひとりに、アマンならではの唯一無二の体験を提供してまいります。

AMANについて

アマンは、プライベートな邸宅にいるかのような心温まるもてなしと、常に小規模であること、そして美しさの際立つラグジュアリーで非日常的な体験のできる、プライベートなリゾート・コレクションとして 1988 年に創設されました。そのコンセプトは、初のリゾートとして誕生したプーケット島のアマンプリ（平和なる場所）から世界へと広がっていきました。現在、アマンは世界 20 のデスティネーションにおいて、35 軒のホテル、リゾート、ブランドドレジデンスを展開し、今後も新たなプロジェクトを積極的に進めてまいります。

近年、アマングループはアマン・スパからインスパイアされたホリスティックな「アマンスキンケア」（2018 年）、サプリメントシリーズ「Sva」（2020 年）、「アマンファインフレグランス」（2020 年）、レディトゥウエアコレクション「The Essentials by Aman」（2021 年）、フェイシャルスキンケアライン「Aman Essential Skin」（2023 年）、インテリアプロダクトライン「Aman Interiors」（2023 年）など、アマンのライフスタイルをご自宅へお届けすることができるまでに成長いたしました。

AMAN

さらにアマンは常に進化を続けることをブランド哲学に据え、2020年には しいホテルブランド「Janu (ジャヌ)」を立ち上げました。サンスクリット語で「魂」を意味するジャヌは、人ととのつながりを育み、調和を取り戻して歓びを分かち合うことをコンセプトとしています。2024年 3月に開業したジャヌ東京のほか たなデスティネーションでの開業計画が進行しています。